

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## 産業分野

# II

### 1 新産業の創出と地場産業の活性化

## ファッション産業の育成・振興

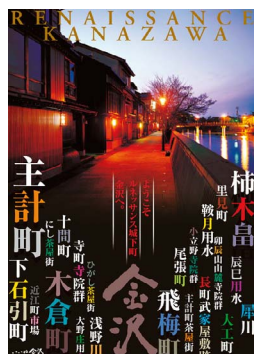
#### 現状と課題

金沢には歴史と伝統に育まれてきた多様な伝統産業、学術文化の集積と技術力を活かしてきた繊維産業等の地場産業がありますが、ともに事業所数、従業者数、製造品出荷額が減少傾向にあり、新たな活路を見出す必要があります。

一方、印刷、デザイン、ディスプレイ、情報コンテンツ等の情報産業の事業所数は、地方都市では高位にあり、特定の分野でトップシェアを持つ企業があるなど、全国的にもそれなりの評価を得ています。しかし、大都市圏や海外諸国との競争も激化してきており、地域の特性を活かした新

な取り組みが必要となってきました。

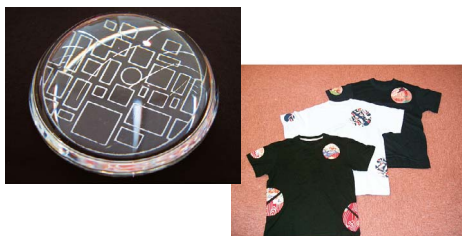
世界に向けた発信力を持つ金沢21世紀美術館の開館を好機ととらえ、繊維をはじめとした伝統工芸品やアクセサリ、インテリアグッズなど、生活文化全般に関わるファッション産業の活性化をめざして、平成16（2004）年に「金沢ファッション産業<sup>\*</sup>都市宣言」が議決されました。そして、金沢ファッション産業創造機構を設立し、質の高いものづくりを進めるなど、世界をリードするファッション産業都市づくりに向けた取り組みを進めています。



美術印刷



ファッションフォーラム



ミュージアムグッズの製品化

#### 基本方針

歴史に育まれた文化の蓄積、ものづくりの多様性と技術力の高さ、金沢21世紀美術館の創造力・発信力、金沢美術工芸大学のデザイン力など、地域の資産を最大限に活かし、新たなデザインの付与など、既成の概念にとらわれない新製品の開発を進めると同時に、世界に向け「金沢発ファッション」を訴求するため、ライフ&ファッション

金沢ウィークの開催など、販路の拡大と情報発信の充実に努めていきます。

また、金沢美術工芸大学などを中心にデザイン教育の充実を図るとともに、美術館や産業界との連携を進め、新たな産業を育て、金沢ブランドの確立をめざしていきます。

#### 事業計画（主な事業とその内容）

##### 〔新たなものづくりの推進〕

地元素材や技術力の再発掘、外国人デザイナー等によるデザイン開発など新たな視点を加え、生活者のニーズに合った新しいものづくりを進めます。

##### 〔ファッション情報の発信と販路の拡大〕

「ライフ&ファッション金沢ウィーク」<sup>\*</sup>として、繊維や工芸品等の総合見本市を開催するなど、金沢発のファッションを世界に向け発信し、販路の開拓・拡大につなげていきます。

##### 〔アート・ビジネスの新たな展開支援〕

eAT KANAZAWA<sup>\*</sup>による人材交流やITビジネスプラザ武蔵によるインキュベーション機能を通じて、印刷、デザイン、ディスプレイ、情報コンテンツ等の比較優位なアート・ビジネスの新たな展開を支援します。

##### 〔ファッションデザイン教育の充実〕

金沢美術工芸大学において、単なる衣服のデザインとは一線を画し、美術やデザイン、工芸の諸分野が融合した特色のあるファッションデザイン教育を実践します。また、実践的で国際感覚とビジネス感覚を併せ持つ人材を育成するため、海外における職業体験実習を実施します。

##### 〔金沢美術工芸大学、美術館、産業界との連携の促進〕

それぞれの場面で多様な知識や情報、実績等を持つ金沢美術工芸大学、各美術館、産業界を結びつけ、ファッション産業に関する情報交流、新製品開発、販路開拓へと発展させていきます。

#### 市民参加と協働

- ・新製品開発や販路拡大、就職先の確保、企業出資による海外留学や海外職業体験等における地域企業との協働・連携

<sup>\*</sup>ファッション産業  
繊維をはじめとする、生活文化全般に関わるファッション分野を担う産業。  
<sup>\*</sup>eAT KANAZAWA  
金沢発のエレクトロニックアートの祭典。1997年の開催以来、国内外のクリエイターや学生、IT関連の仕事にたずさわる人たちの相互交流の場として、金沢を舞台に開かれている。

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## 産業分野

# II

### 1 新産業の創出と地場産業の活性化

## ものづくり産業の活性化

#### 現状と課題

金沢市は中小企業が多く、様々な業種が集積しています。企業規模は小さくとも、独自の技術と高い品質で評価を受けており、全国的に高いシェアを占めるニッチ企業を多数生み出してきました。しかし、近年は国際競争力をつけた付加価値の高い

ものづくりが求められており、知恵や技術、技能を出し合って企業が連携していく必要があります。また異業種間の連携はもとより、これらの技術を有効に活用する産学連携の促進も求められています。



港湾活用型の基幹産業



金沢テクノパーク進出企業



ニッチ産業（ボトリング）



eATサロン

#### 基本方針

付加価値の高い製品づくりを推進するため、産学連携や異業種交流を支援し、新製品や新技術の開発、人材育成に取り組みま

す。また、中小企業の国際見本市等への出展支援を通して販路拡大をめざします。

#### 事業計画（主な事業とその内容）

##### 〔産学連携による新製品・デザイン開発の促進〕

大学等との共同研究による自社製品の開発や新事業展開に対し、補助等の資金的な支援を行います。特に福祉・医療、環境、デザイン分野について、全国的なビジネスモデルとなるような特色ある研究開発を後押しします。

##### 〔固有技術の高度化〕

異業種交流、産学連携を促進し、企業や大学等研究機関の持つ技術の蓄積を新製品や新技術の開発に活かし、付加価値の高いものづくりに発展させます。

##### 〔販路の拡大〕

国際見本市等への出展を促し、世界に金沢発の技術の良さを広めることで、地元企業で開発した製品や新技術の販路開拓を図ります。

##### 〔ものづくり人材の育成〕

大学等研究機関の教員等による専門講座の開催、異業種研修会館の技術相談の開催を通して、中小企業の技術者の育成を行い、固有技術の向上を図ります。

##### 〔既存工業団地の再整備支援〕

金沢の経済を支えてきた繊維、機械、印刷業等が集積する地区や既存工業団地について、産業基盤等の再整備を支援します。

#### 市民参加と協働

- ・付加価値の高い製品づくりを推進するための産学連携
- ・企業の積極的な連携、異業種間交流

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## 産業分野

# II

## 1 新産業の創出と地場産業の活性化 企業立地の促進

### 現状と課題

これまで、金沢市の工業は一般機械工業を中心として、食品工業、出版・印刷工業、繊維工業等の生活関連産業を含めた多様な業種構成を保ちながら、内発的な発展を遂げてきました。

しかし、今日の厳しい経済情勢においては、都市の活性化を図るためにも工業立地の促進や中小企業構造の高度化がさしせまった課題となっています。

■金沢テクノパーク



### 基本方針

金沢市における工業立地の促進及び中小企業構造の高度化を図るための必要な助成措置を講ずるほか、工業立地基盤の開発・整備ならびに立地環境の保全を図ります。

### 事業計画（主な事業とその内容）

#### 〔工業団地の整備〕

中小企業の産業構造の高度化に対応するため、いなほ（第2期）、かたつ（第2期）、河原市地区において、新たな工業団地の造成を推進します。

#### 〔新ビジネスの創業支援〕

新ビジネスを創業する起業家に対して、ITビジネスプラザ武蔵や金沢ビジネスプラザ南町等のインキュベーション施設を活用し、創業を支援します。

#### 〔地域特性に応じた企業立地の促進〕

金沢テクノパークに研究開発型先端技術企業等の高度技術産業を誘致します。また、金沢港や高速道路のインターチェンジ等の機能を活かした企業立地を促進します。

#### 〔学都の利点を活かした企業立地〕

高等教育機関が多数立地する金沢の学都としての利点を活かすため、調査研究や開発等で高等教育機関を活用・連携できる環境をつくり出し、企業立地に結びつけていきます。

### 市民参加と協働

- ・企業誘致に向けた産業界と学術機関、行政の連携

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## 産業分野

# II

## 1 新産業の創出と地場産業の活性化 商業の振興

### 現状と課題

モータリゼーションの進行や消費者のライフスタイルの変化等により、中心商店街や地域の商店街では空き地や空き店舗の増加、商品販売額の減少など、商業機能の低下が見られます。その反面、郊外や近隣自治

体では新たに整備された幹線道路沿道を中心に大型店や全国チェーンの専門店が出店しています。これらの環境変化を見据えながら、今後の金沢市の商業のあり方を模索していく必要があります。

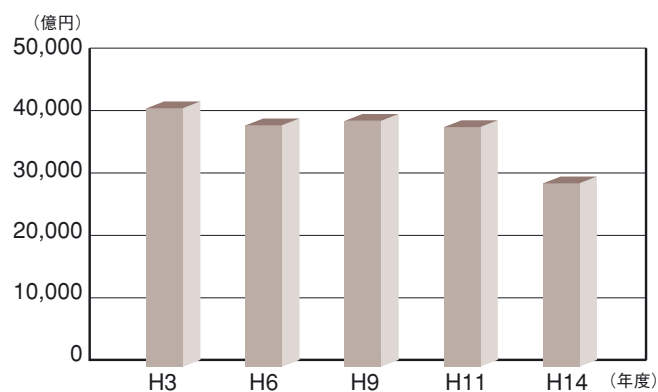


ヨーロッパ風の商業空間「プレゴ」



近江町市場

■年間商品販売額の推移



### 基本方針

都市の賑わいの核となる中心商店街については、金沢市のみならず周辺自治体や隣県からも集客できる魅力づくりを支援します。地域商店街については地域住民の利便

性等に配慮した商業振興を支援するとともに、新たに出店する大型店については本市の望ましい商業のあり方を考慮に入れながら、適正な配置をめざします。

### 事業計画（主な事業とその内容）

#### 〔中心商店街の活性化〕

北陸新幹線の開業効果を受け入れ、周辺自治体、隣県からも集客できるような中心商店街をめざし、イベント開催や共同施設の設置、ファサード整備等への助成を行います。また、まちなかパフォーマンスシアターや賑わい回廊形成事業等の実施により、まちなかの賑わいを創出します。

#### 〔地域商店街の活性化〕

郊外の大型店との競争激化が予想される地域商店街に対し、望ましい商業のあり方を検討します。また、地域商店街に対してイベント開催や振興プランの作成等への助成を行います。

#### 〔新たな商業拠点の適正配置〕

「商業環境形成まちづくり条例」や商業環境形成指針に従って、新たに出店する大型店に対し、都市計画に基づく金沢市の望ましい商業のあり方を考慮しながら、商業施設の適正配置を図ります。

#### 〔経営の健全化・育成支援〕

商店街の経営診断を実施するとともに、制度融資の拡充による育成支援を図ります。

### 市民参加と協働

- ・地元商店街や企業が主体となった商店街の魅力を高める活動の展開